

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1030号  
 2007年4月1日発行  
 日本聖公会東京教区  
 港区芝公園3-6-18  
 編集人 伊藤裕元

4月の代祷・信施奉献先  
 エルサレム教区のため 在日外国人  
 人権問題のため 柏聖アンデレ  
 教会のため 諸神学校のため  
 大斎プログラム7

聖マーガレット教会 聖木曜  
 日聖餐式・洗足式 4月5日19時  
 聖土曜日復活のろつそくの祝  
 福・洗礼の約束の更新 7日18時  
 東京諸聖徒教会 聖土曜日  
 の礼拝復活のろつそくの祝福・  
 聖餐式 7日19時

葛飾茨十字教会 聖土曜日の  
 礼拝(復活のろつそくの祝福と洗  
 礼の約束更新) 7日19時

銀座朝禱会 4月2・4火  
 曜7時半〜9時半、ルノアール  
 喫茶室ニユー銀座集会所) 10  
 日 感話・北島慎滝乃川学園評

## 今週・来週の予定

4月1日～14日

- 1(日) 復活前主日  
 主教巡回 聖ルカ礼拝堂  
 教区合同堅信式(主教座)
- 5(木) 聖木曜礼拝(主教座)
- 6(金) 受苦日礼拝(主教座)
- 7(土) 聖土曜日前宵礼拝(主教座)
- 8(日) 復活日  
 主教巡回 池袋聖公会  
 牧師任命式
- 9(月) 聖公会神学院入学礼拝  
 (神学院)
- 10(火) 銀座朝禱会  
 常置委員会  
 人権委員会(聖バルナバ)
- 13(金) 職員会議  
 広報委員会

議員) 24日 感話・福代亮三  
 (エリザベス・サンダースホー  
 ム事務長) 照会先 教区事務  
 所宣教主事宛  
 4月ランチタイムコンサート  
 聖パウロ教会 13日(金)  
 12時20分 オルガン 米沢陽子  
 (30分程度・入場無料)  
 教区SS連絡会「こども  
 にゆーす」07年春号が3月25日  
 付で発行され、各教会日曜学校  
 で配付された。教会によっては  
 「おとな」にも配付したところが  
 あったようで、教材のほか読み  
 物としても楽しまれている。  
 とこしえの平安  
 3月10日 山野 凱章(68)  
 聖アンデレ

掲載記事の転用可 事前連絡要

この齢になって「恵み」を身近に感じることが出来るようになってきました。最近では毎朝、食前に「天の神様、今日もお与え下さり感謝します。今日も神様と共に歩むことが出来、そして、生きる喜びを感じることが出来ま

《恵みに生かされて》

## 今日という日

「すように」と祈ります。会社で働いていた頃は、目的や夢をもって、予算や計画等に向つ

て、と常に先の目的に向かって己にプレッシャーをかけながら生きてきたような気がします。

成功したとき、認められたとき、競争や勝負に勝ったとき、病気が治ったときなど現実に自分に都合の良いようになったときに感謝というか恵みを感じた気がします。

日常は日常の出来事として何も感じる事がなく生きていました。リタイヤして10年近く経過し、足腰が弱くなり、思う様に体が動かなくなり、視力が衰え、体力が衰えてきた今の自分。

佐藤 亘 昭

ありがたや節ではないのですが、今日という日が与えられ、足元の家族と会話が出来たこと、買い物に行ってお店の方とお互いに慰めあったこと、病院で

と、礼拝に行けたこと、知人と電話で会話をしたこと、日常の「一つ一つの出来事に何故か感謝と恵みを感じます。今、自分がほんの少し新しいことを神様の助けによってやってみる気持となつた時、本当に生き甲斐を感じ「恵み」と思うようになった気がします。

(東京聖十字教会信徒)

教区会、時間延長で審議  
「神学院問題」も俎上に

東京教区第104(定期)教区会は3月21日(水・休)に開催された。午前9時、聖アンデレ主教聖堂での聖餐式をもって始まり、その後、会場を聖アンデレホールに移して終日会議。植田仁太郎教区主教が議長を務め、書記には須賀義和執事、神崎和子司祭があたった。出席議員は教役者(含聖職候補生・伝道師4人)42人中37人、信徒代議員71人中68人(いずれも第1回点呼時)。他に番外議員、傍聴者ら約20人、書記補助を勤めた聖職候補生4人。

議長による開会演説 近く本紙別刷りで配布」に続き、各委

員会の06年度の活動が報告され一部、質疑を経たうえで、すべて受理、承認された。

提出された議案は3件。06年度会計決算の承認、月島聖公会将来計画検討特別委員会の設置、教区審判廷審判員の承認(各件とも質疑や意見交換があったのち、すべて原案の通り可決された。

とくに審議を深めたのは、常置委員会報告の中でとりあげられた諸項目で、家族を持つ聖職候補生の支援の指針や他教区との協働に関する考察等。さらには、昨春来、聖公会神学院を卒業した聖職候補生の訴えによって起きた出来事と、それに伴う対応と人事に関する、神学院をめぐる諸問題と東京教区の理

解」については、とくに議長提案もあり、長時間を割いて議論された。数項目は本紙次号以降で順次、取上げる予定」

また議案 の中で、教区企画室から、宣教の拠点である教会が合同して移転するなど新たなヴィジョンと可能性に向けて援助したい旨報告があった。

常置委員選挙は5回、行われ昨年と同様、聖職「大畑喜道・笹森田鶴・山口千寿各司祭、信徒」松田正人・山田益男・小林幸子さんを再選。「教区会後に開かれた常置委員会の互選で、常置委員長・大畑司祭、書記・松田委員が再任となった」

会議は開会予定を大幅に延引して(60分・30分の延長2動議)、18時30分に終了した。

## 【学びと働きから】37

### 「青年支援部会」発足

信仰と生活委員会の青年担当数人を中心に、東京教区青年支援部会」が発足しました。中高生世代支援団体COAのスタッフをしている方をはじめ、青年活動に携わっている方や関心を持ってくださる方等委員会以外の人にも関わって頂きながら、共に教会に連なる青年たちの支援を考えていきます。

教会に青年がいけないと言いつつも、東京教区には頑張っている青年たちが結構埋もれています。支援部会では教区外で行われるさまざまなプログラムに参加意欲を持つ青年たちの経済的支援を中心に行っていきます。

この春にも、九州教区主催「平和を考えるプログラム」や、差別の問題について考える大阪のSCM現場研修などに参加し、学びを得てきた青年たちがいます。一つ一つの「生きた」体験はきつと教会にも還元されていくことでしょう。

ぜひ多くの方々に直接の支援を呼びかけると同時に、まずは自教会の青年たちに目を向け、経済的支援だけでなくその体験を還元できるよう応援して頂きたいと思います。現代の「忙しい」青年たちが時間を作って何かを体験しようとする姿勢を積極的に応援し、送り出せる教区でありたいと思っています。

東京教区青年担当 中村真希  
(聖マルコ教会信徒)

## 《今、この教会では・・・》

### 聖オルバン教会

ランドル司祭3年目の今年、当教会では教会の外への働きかけを強めることに取り組んでいます。一昨年度に当教会の使命と働きに関するビジョンを教会全体で識別し、昨年度は内的な霊的成長を促す活動の充実を図りました。家庭集会を立ち上げ、教会暦に合わせ約3ヶ月毎に黙想会を開き、聖書研究会と代祷グループの活性化に勤めました。今年は和解のために奉仕する任務」を立ち上げようとしています。全ての活動は司祭監督下にありますが信徒主体で動いており、信徒の異動が多い当教会では継続性の維持が試練となっております。(宇津江厚子)